

情報公開文書

| | |
|-------------------------------------|--|
| 研究の名称 | 富山県における15歳未満小児死亡例に関する調査とchild death review体制の確立に関する研究 |
| 整理番号 | |
| 研究機関の名称 | 富山大学附属病院 |
| 研究責任者 (所属・氏名) | 高崎 麻美 (学術研究部医学系 小児科学 助教) |
| 研究の概要 | <p>【研究対象者】 2018年(平成30年)4月1日～2023年(令和5年)3月31日において死亡した15歳未満の小児事例を対象とします。NICUや新生児室など出生後すぐに入院し、退院せずに死亡した事例は除き、15歳の中学生は対象として含みます。</p> <p>【研究の目的・意義】 本研究は富山県内における小児死亡事例のデータベースを構築し、登録データの統計および調査を行うことにより、小児死亡事例に関する研究ならびに診療の進歩・普及を図ることを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 一次調査で県内24の施設において死亡数の評価を行い、二次調査において、死亡背景の評価に関してカルテを用いて後方視的にを行います。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～西暦2025年3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究結果は、日本小児科学会発表、小児関連雑誌(日本小児科学会雑誌など)に投稿予定です。</p> |
| 研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無) | <p><情報の項目> 基礎疾患の有無、入院日、死亡退院日、入院経過、退院後経過 年齢、性別、原因疾患、治療内容(人工呼吸管理、体外循環、中心静脈管理)、死亡確認場所(ICU、一般病棟、救急外来、その他)、ICU管理の有無、脳死判定の有無とその結果、虐待の関与(有、無、疑い)、自殺の有無、DNAR取得の有無、検視の有無、Aiの有無、解剖の有無(病理、行政、司法)、グリーフケア(退院後、家族との接触歴の有無) 他機関への提供なし</p> |
| 研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名 | 富山大学附属病院 病院長 林篤志 |
| 研究資料の開示 | 研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。 |
| 試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名) | 富山大学附属病院 学術研究部医学系 小児科学 高崎 麻美 |
| 研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口 | 研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-2281(代表) |

FAX 076-434-1463

E-mail yusaito@med.u-toyama.ac.jp

担当者所属・氏名 小児科 齊藤 悠